

平成27年度予算見積調書

課室名：環境政策課

担当名：企画・環境影響評価担当

内線：3007

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B10	環境学習推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境学習推進費	
事業期間	平成5年度～	根拠法令	環境教育等による環境保全の取組みの促進に関する法律、埼玉県環境基本条例			戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築		
						分野施策	040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進		
<p>1 事業概要</p> <p>環境への負荷を軽減し、自然がもたらす恵みを楽しむためには、県民の意識や生活スタイルを変革することが急務である。このような中で、環境について正しく理解し、環境を守ろうとする態度を養うための学習機会をより一層充実させることが不可欠である。</p> <p>平成24年10月の環境教育等促進法の施行を受け、県民各層の連携のもと、環境保全への意欲の増進や学校や職場における環境学習の支援の充実を図り、「環境にやさしい県」を支える人づくりを推進する。</p> <p>(1) 人材派遣などによる環境学習の支援 3,826千円 (2) 環境学習応援隊派遣事業 588千円 (3) 親子で学ぶ学習ガイドブック活用検討 539千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 人材派遣や学習資料の提供などによる環境学習の支援 3,826千円 (ア) 環境アドバイザー・環境教育アシスタントの派遣：延べ280回（通年） (イ) 環境学習図書、実験用試薬等の購入（通年）</p> <p>イ 環境学習応援隊派遣（随時） 588千円 ウ 親子で学ぶ学習ガイドブックの効果的な活用方法の検討 539千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 自身の生活とそれを取り巻く環境との関わりをきちんと理解し、環境を保全するために主体的に行動することを促していく。 イ 企業等のもつ優れたノウハウを活用することで、学校だけでは対応しにくい環境教育の進展を図る。 ウ 専門的な指導者だけでなく、親や保育士など多様な主体による幼児期における環境学習の充実を図る。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>環境アドバイザー・環境教育アシスタント・環境学習応援隊派遣件数 平成24年度：200件 平成28年度：280件</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>環境問題に関する専門的な知識や豊富な経験をもつ県民と協働 環境学習応援隊として企業等を組織化し、協働により環境学習を支援</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 普通交付税（包括算定経費） （区分）企画費（細目）環境保全対策費 （細節）環境保全対策費 （積算内容）地域の実情に応じた環境保全対策</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費：9,500千円×1.0人=9,500千円</p>									
予算額		財源内訳							
		繰入金						一般財源	前年との対比
決定額	4,953	4,849						104	11
前年額	4,952	4,820						132	